

留学生のための ここが大切 文章表現のルール

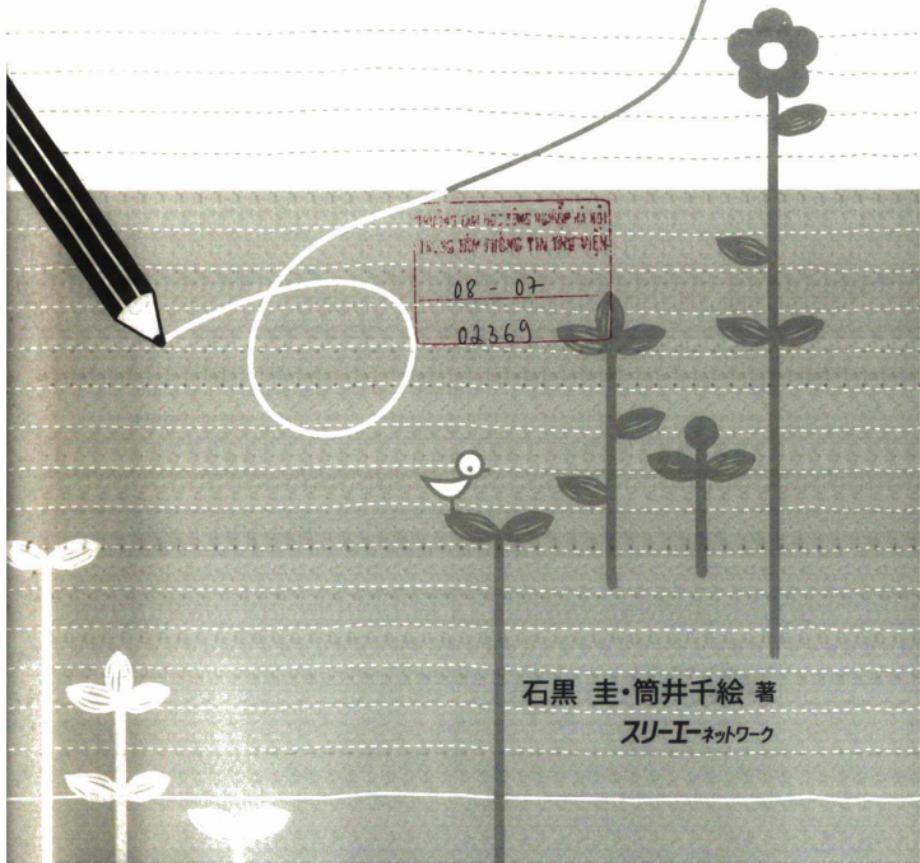
中上級
日本語学習者
対象

石黒 圭・筒井千絵 著
スリーエーネットワーク



留学生のための ここが大切 文章表現のルール

中上級
日本語学習者
対象



© 2009 by Ishiguro Kei and Tsutsui Chie

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the Publisher.

Published by 3A Corporation.

Trusty Kojimachi Bldg., 2F, 4, Kojimachi 3-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083,
Japan

ISBN978-4-88319-502-2 C0081

First published 2009
Printed in Japan

はじめに

この本は、論文やレポート、日常の文章などを、自然な日本語で書くことを目指す教科書です。

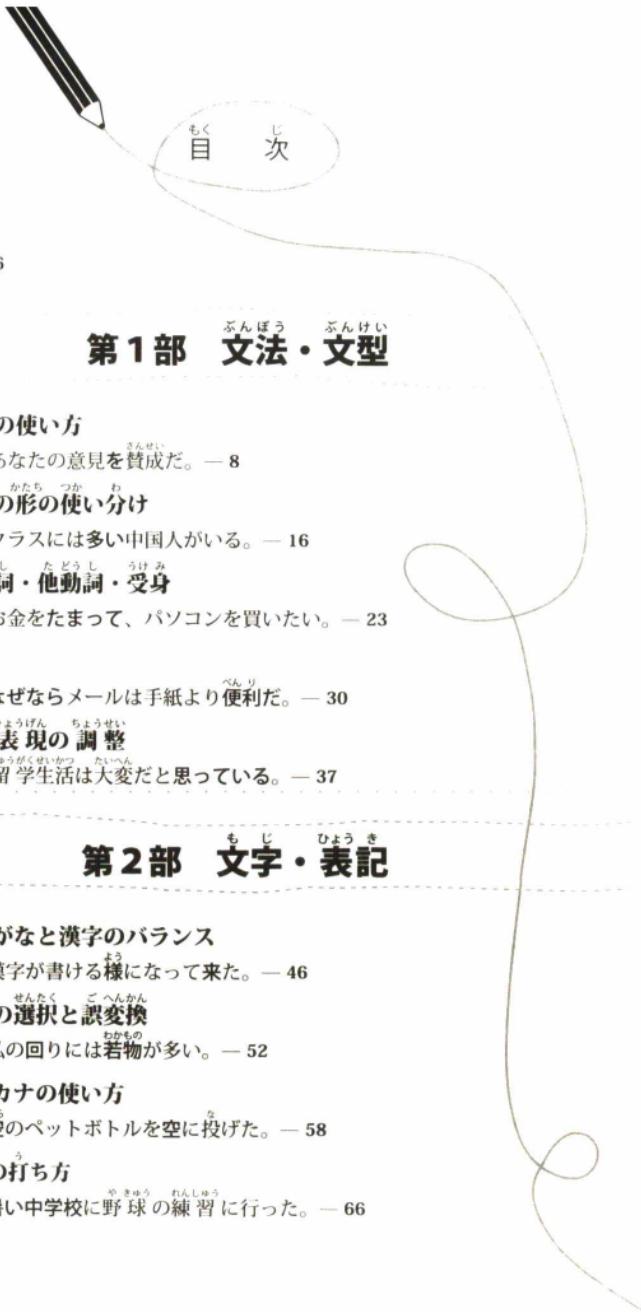
文章が上手になるコツは、自分の文章を、読む人の立場に立って直せるようになります。これは、母語でも外国語でも同じだと思います。

しかし、読む人の立場に立って直す場合、外国語である日本語のどんなところに気をつけて、どんなふうに直せばよいのでしょうか。実は、外国語として日本語を学ぶ人がまちがえるところはだいたい同じです。ですから、そこに気をつけ、日本語の書き言葉のルールに従って直せばよいのです。この本は、留学生が日本語の文章を書くときに、よくまちがえるところを集めてあります。ですから、この本を使って、まちがいの直し方をくりかえし練習してください。

ふだん私たちが留学生のみなさんに文章の書き方を教えていて感じることは、書いてあることは日本人学生の文章よりもおもしろいのに、そのおもしろさがなかなか伝わらないということです。不自然な日本語で書いてあると、内容のおもしろさが伝わらないだけでなく、文章そのものの評価まで下がってしまいます。書いてある内容はすばらしいのに、日本語の表現の不自然さで損をする。そうしたこと�이なくなることを願って、この本を書きました。

文章を書くときは、細かいことを気にしないで、書きたいことだけを考えて書いてください。しかし、その文章を提出するまえに、あなたの書いた文章を読む人が自然に理解できるかどうか、見なおす習慣をつけてほしいのです。そのときに、この本で学んだことを使って自分の文章をチェックしてください。そうすれば、あなたの日本語はきっと自然なものになり、内容への評価は高まるにちがいありません。この本をくり返し練習して文章表現の基礎を作り、日本語の文章力を高めましょう。

2009年3月
石黒圭・筒井千絵



はじめに — 3

ほんしょ
本書の使い方 — 6

第1部 文法・文型

第1課 助詞の使い方

? ● あなたの意見を賛成だ。 — 8

第2課 言葉の形の使い分け

? ● クラスには多い中国人がいる。 — 16

第3課 自動詞・他動詞・受身

? ● お金をたまつて、パソコンを買いたい。 — 23

第4課 呼応

? ● なぜならメールは手紙より便利だ。 — 30

第5課 文末表現の調整

? ● 留学生活は大変だと思っている。 — 37

第2部 文字・表記

第6課 ひらがなと漢字のバランス

? ● 漢字が書ける様になって来た。 — 46

第7課 漢字の選択と誤変換

? ● 私の回りには若物が多い。 — 52

第8課 カタカナの使い方

? ● 空のペットボトルを空に投げた。 — 58

第9課 読点の打ち方

? ● 暑い中学校に野球の練習に行った。 — 66

第3部 語彙・意味

第10課 書き言葉らしさ

?❶ 肉を口にしない人もいっぱいいる。— 74

第11課 辞書の危険性

?❷ クレジットカードは速く普及した。— 82

第12課 専門用語の選び方

?❸ 中央銀行は通貨を出版する。— 90

第4部 文章・談話

第13課 文の長さと読みやすさ

?❶ 高校のとき経済学に興味を持った友人は、大学で金融経済学を専攻し、卒業後証券会社に勤めている友人がいる。— 98

第14課 指示詞による文の接続

?❷ 母には弟がいる。あの人は独身だ。— 104

第15課 接続詞と文章の構成

?❸ パック旅行は、ホテルの選択肢は少ない。それなのに、格安だし準備も楽だ。— 112

第16課 読み手への配慮

?❹ 私は犬が怖い。蛇ににらまれた蛙だ。— 118

第5部 実践編

第17課 レポートの基本的な書き方（意見と事実）— 126

第18課 レポートの基本的な書き方（複雑な内容の整理）— 131

第19課 立場のある文章の書き方— 135

第20課 先生宛のEメールの書き方— 141

本書の使い方

本書の特徴と全体の構成

この本は、日本語中級・上級レベルの学習者が書いた文章をもとに、学習者がまちがえやすい文法や表現を集めて作ったものです。

まず、初級で勉強した文法や表現を使って、正しい文を作る練習から始めます。つぎに、文と文のつながりを考えて、まとまった内容の文章をわかりやすく書く練習をし、最後にはレポートや論文など複雑な内容や専門的なテーマの文章も書くことができる目標としています。ですから、全体の構成は易しいものから難しいものへと並んでいますが、各部・各課のテーマは独立していますので、使う人の目的やレベルに合わせて、好きなところからスタートすることができます。

各課の構成

各課はすべて、「問題—解答—説明—練習—発展」の五つのステップからなっています。その順に学んでいくことで、文章力の基礎が着実に身についていきます。

- 問題
→ まず、初めに問題を解いてみましょう。それから、解答を見
解答
→ て自分のまちがえたところをチェックしてください。解答は
一例です。
説明
→ 文法や表現の使い方、わかりやすい文章を書くための技術
を理解しましょう。
練習
→ 説明をもとに、実際に練習問題をやって確認します。問題
を数多く解いて、パターンに慣れましょう。
発展
→ 応用問題です。しっかり習得できたか、力を試しましょう。

※本の中で使われている言葉は、中級の学習者でも使用できるように、日本語能力試験2級レベル以上の漢字や語彙には原則としてルビが振ってあります。また、説明を理解するのに必要な文法用語には英語の訳がついています。

第1部 文法・文型

内容がどんなにすばらしくても、書いた文章に文法のまちがいがあると、読みにくくなったり、レベルの低い文章だと誤解されたりします。ここでは、中級学習者の文章に多い文法のまちがいを取り上げて集中的に練習し、ミスのない正確な文章が書けるようになります。

第1課から第3課までは、助詞や動詞の形の使い分けなど、まちがえやすい文法を復習しながら、より長い文章に応用できるような練習をおこないます。第4課・第5課では、「なぜなら～からです」「私は～と思います」のような、文章を書くときによく使う表現を練習します。

じょし 助詞の使い方

第1課

あなたの意見を賛成だ。

問題

次の文 章には助詞 (particle) のまちがいが五つあります。まちかっている助詞に線を引き、正しく直してください。

日本語には、難しい漢字にふりがなをつける習慣がある。新聞を読んでいても、町で歩いていても、ふりがなをよく目に見る。日本人のなかには、ふりがなを反対の人もいるらしいが、私はとても便利でよい習慣だと思う。

自身は漢字の勉強を楽しい。しかし、漢字が嫌いな留学生も多い。また、日本に来たばかりで、漢字を勉強する時間のない学生もいる。

新聞報道によって常用漢字が今後増えるという。そうすると、日常生活の中で難しい漢字が増え、これからますます日本社会に漢字が読めない外国人が増えるだろう。日本の子どもたちも漢字が読めなくて困るのではないだろうか。

留学生や子どもたちは辞書を引いて調べられるように、漢字にはふりがなをつけるべきだと思う。

- (1) 町で歩いていても→を
- (2) ふりがなを反対の人→に
- (3) 私自身は漢字の勉強を楽しい→が
- (4) 新聞報道によって常用漢字が今後増えるという→によれば／によると
- (5) 留学生や子どもたちは辞書を引いて調べられるように→が

1. 「で」と「を」のまちがい

(1) で

(1) 「町で歩いていても」は「で」と「を」のまちがいです。普通、動作がおこなわれる場所は「で」を使います。「公園でサッカーをする」では、「公園はサッカーをする場所ですから「で」です。しかし、動作がおこなわれる場所でも、次の①～③のような場合は「を」を使います。

①人・ものが通る場所+「を」

例：大通りを歩く。

公園のなかを走る。

飛行機が空を飛ぶ。

②人・ものが離れる場所+「を」

例：10時にうちを出る。

船が港を離れる。